

2023年12月3日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会 気象予報士 118名に調査を実施 2023年の「今年の天気を表す漢字」は「暑」に決定

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊 一洋、以下「日本気象協会」)は、日本気象協会に所属する気象予報士のうち 118名からの調査をもとに「今年の天気を表す漢字」を「暑」と決定しました。また「今年の天気を表す漢字」は2023年12月3日(日)に『気象神社(東京都杉並区高円寺にある氷川神社境内)』にて開催された「高円寺お天気フェス 2023」にて発表しましたのでお知らせします。



■2023年の「今年の天気を表す漢字」第1位は「暑」

日本気象協会に所属する気象予報士のうち 118名に調査を行った結果、「暑」が1位に選ばれました。

2023年の夏(6月～8月)の平均気温は、1946年の統計開始以降、北日本と東日本で1位、西日本で1位タイとなるなど記録的な高温となりました。さらに、地球温暖化などの長期的な気候変動の監視に用いられる15地点の観測値による日本の平均気温の平年差は+1.76度となり、1898年の統計開始以降最も高かった2010年の+1.08度を大きく上回るなど、夏場の気温が平年より高く、厳しい暑さとなりました。

また、東京都心では2023年の年間の真夏日日数の積算が90日と過去最多になり、今年最後に真夏日が観測されたのは9月28日となるなど、厳しい残暑が長く続いたことも特徴となった年となりました。

なお、今回選ばれた「今年の天気を表す漢字」は、日本に唯一という「気象」の神社『気象神社』にて宮司の松井美加子さんに揮毫(きごう)いただきました。

■2023年の「今年の天気を表す漢字」TOP5

記録的な高温となった「異」例の「暑」さ、今年の夏を象徴する「猛」「酷」、「長」引いた残暑など、暑さに関連する漢字が今年のTOP5を占めました。

<TOP5と選考した気象予報士のコメント(※調査結果より一部抜粋)>

- 1位:「暑」 記録的な暑さで、いつも以上に熱中症への注意喚起を呼び掛けたため
 - 2位:「猛」 過去もっとも暑い夏となり、猛暑がおさまらなかったため
 - 3位:「酷」 長すぎる残暑が「酷」すぎたから
 - 4位:「長」 夏がとにかく長く、秋が待ち遠しく感じた
- 「異」 長期にわたる高温や季節の進み方など、例年と大きく異なっていたため



各漢字の選考理由の詳細は「2023年お天気総決算～tenki.jp ラボ Vol.24～」(<https://tenki.jp/suppl/entries/8/>)で紹介します。『お天気総決算』の調査と発表は2013年からスタートし、今年で11年目となります。

調査概要

- 【調査対象】 日本気象協会所属の気象予報士 118名
- 【調査方法】 インターネット調査
- 【調査期間】 2023年11月6日(月)～11月14日(火)

■ 天気予報専門メディア「tenki.jp(てんきじえーぴー)」 <https://tenki.jp>

日本気象協会が発表する気象情報を、Web サイト/スマートフォンアプリで提供している天気予報専門メディアです。1997年9月にサービスを開始し、25年以上の歴史があります。年間ページビュー数は約58億PV(Web ページ・スマートフォンアプリ合算)。生活に欠かせない天気予報に加え、専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報も確認できます。気象予報士が日々提供する「気象予報士のポイント解説(日直予報士)」も人気コンテンツです。

- ・製品名、サービス名などは一般に各社の商標または登録商標です。
- ・「tenki.jp」は、一般財団法人 日本気象協会の登録商標(登録第 6129427 号)です。
- ・「tenki.jp」ロゴマークは、一般財団法人 日本気象協会と株式会社 ALiNK インターネットの登録商標(登録第 5763293 号)です。
- ・「tenki.jp」は日本気象協会と ALiNK インターネットの共同運営です。
- ・内容は発表日現在のものです。予告なしに変更されることがあります。

本情報を使用される際は、クレジット(「tenki.jp」調べ)と
サイトリンク(<https://tenki.jp>)を両方記載してください。